

# 進路だより 多か草

進路だより 第756号  
平成31年3月26日(火)  
多治見高校進路指導部

## ◆Topic◆ AO入試・推薦入試は受かりやすいのか？

1,2年生のみなさんの中には「AO入試や推薦入試で何とか合格を！」と考えている人も多いのではないのでしょうか？（注：1年生はAO入試→総合型選抜 推薦入試→学校推薦型選抜 に名称が変わることは知っていますね）はたしてこのタイプの入試は一般入試に比べて受かりやすいのでしょうか？今年のデータをもとに考えてみたいと思います。

右の表が今年の3年生の結果です（指定校推薦のデータは含まない）。

		国公立		私立(含短大)	
		センター有無	出願数	合格数	出願数
AO入試	センター無	3	1	24	18
	センター有				
推薦入試	センター無	9	0	73	30
	センター有	21	6		

### 【AO入試】

国公立1人合格。この先輩は数学が得意かつ面接で話せる内容（研究実績）があった先輩です。私立は24人中18人（なんと75%）が合格です。ところが、多治見高校の多くの生徒が希望する愛知大と中京大はそれぞれ1人しか合格していません。海外在住経験があるとか討論ができるという**セールスポイント**がある生徒が受かっています。その他の合格者は、芸術系の大学と多くの生徒が滑り止めとして考える大学（愛愛名中\*より下のランク）が大半を占めています。大勢が希望する**人気大学は特徴が無いと受かりにくい**ことがはっきりしています。

### 【公募制推薦入試】

国公立センター無は0人。センター有は6人合格。この6人は大まかに言ってセンター試験**5教科7科目で7割程度**の得点を取っています。これくらいの点がないと国公立は難しいのが現状です。私立は73人中30人（41%）合格ですが、**学科試験がある中京は12人中2人、愛知は18人中5人、名城は10人中3人**しか合格しておらず、お世辞にも受かりやすいとは言えません。推薦入試といえども**学科試験**があり（さらに+面接+小論文というものもある）、「中堅レベル」以上の大学は学力のある学生を取りたいのです。つまり**学力が無いと受からない**のが実態です。

\*愛愛名中→「愛知」「愛知学院」「名城」「中京」のこと。南山に次ぐ東海地区第2グループを指す

### 【大事なことは何か】

進学をする上で一番大事なことは何か？それは大学に受かることではなく、社会に出てからも様々な状況に対応できるような**「自信と力を身につけること」**です。「面接だけで何とか大学に滑り込もう」などと考えている人は大間違い。受験勉強は辛いものです。自分の限界を感じて何度も何度も挫折しそうになります。それを乗り越えて初めて自分に自信が持てるようになります。そのためには**まず勉強すること**。そして次に活動（部活や生徒会、ゼミ学習やボランティアなど）に意味づけをして**自分で語れる**ようになるとAO・推薦での武器になります。まずは学力を伸ばすこと。これが基本中の基本です。新たな気持ちで4月から再スタートしましょう。（文責：岡崎）

## ♪2年の窓♪ 「ごまかし勉強」からの脱却

「ごまかし勉強」という言葉をご存知でしょうか。これはもう16年ほど前にある大学の教育学の教授が名付けた学習方法です。

これは、「テストのために勉強して点さえ取ればいい」という勉強法で、「手抜き勉強」「間に合わせの勉強」「一時しのぎの勉強」のことを言います。

自分の勉強について感じることはありませんか？

以前私が長期休みの課題や、考査前のチェック用のプリントを配付した時に、

「答えは用意してくれないんですか？」

「答えがもらえないと勉強できません」

という声があがりました。もちろん教科ごとの違いがあるから一概には言えませんが、このような言葉が当たり前に出てきてしまうというのは「ごまかし勉強」が当たり前になってしまっているということではないでしょうか。中学生までの学習内容ならそれでもしのげたのですが、高校の内容ではそうはいきません。これが、定期考査でしか点が稼げない人が出てくる原因なのだと思います。

ではどうすればいいんだという話なのですが、1つの方法として、問題集やワークのやり方を見直すという手があります。多くの人は、まず答えを書き写してから赤ペンで書きこんで赤シートで隠すということをやります。このやり方の弊害は、自分が分かっている内容と分かっていない内容の選別がしづらいということにあります。分かってなくても気付かない→弱点が分からない→対策をしないという状態に陥ってしまいます。まずは自力でどこまでできるか見定める必要があります。しかしまったくわかっていない状態では白紙になってしまいやる気もなくしてしまいます。問題集やワークを授業の延長線上でとらえる必要があります。授業内容の復習としてこれらを活用するつもりで授業を受けましょう。100%授業内容を理解しろとは言いません。しかし授業が終わったとき50%は理解できることを目指しましょう。そのような意識で授業に臨めば、問題集やワークの内容が全く分からないという事態は避けられます。すると、自分がやらなければいけない部分ははっきりしてきます。

「ごまかし勉強」の克服なくして受験は乗り越えられません。

（文責：安藤）

## ♪1年の窓♪

現1年生からセンター試験から共通テストになるなど大学入試制度が大きく変わることは色々な場面で話を聞いてきましたね。「思考力・判断力・表現力」を身につけるため主体的に学ぶためには具体的にどのような行動を起こすべきなのでしょう？

先日、皆さんが受験したスタディサポートの昨年度の結果から成績・学習時間上昇者が重視している生徒の学習行動は以下の通りです！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### ○授業に関して

「学んだことやできるようになったことを、記録に残す」

「学んだことに関連した事柄について、自分なりに調べている」

### ○家庭学習に関して

「分からないことや難しいことに直面しても、あきらめずにやりぬく」

### ○模試について

「間違えた問題について、なぜ間違えたのかを自問自答する」

### ○学校行事について

「学んだことを記録に残しておく」

### ○全体的に

「自分で考えた（考えていた）ことを、記録に残しておく」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

2年生のスタートを切るにあたって、キャリアノート、ポートフォリオノートも含めて、さまざまな場面で『記録に残す！』ことを更に行動に移す1年にしましょう！

まずは、今日、受け取った真新しい『キャリアノート』に当面予定、目標を書き込むことから始めましょう！！

さあ 2年生がスタートです！！

### キャリアノート

表紙をオリジナルに  
アレンジしておく！



(文責：西崎)